

新潟日報社様による社長インタビュー記事が掲載されました。

新潟日報2022年4月20日（水）付け11面にて、
弊社代表取締役社長 神足勝昭のインタビュー記事が掲載されました。



長期化する新型コロナウイルス禍は、あらゆる産業に影響を及ぼし、企業や人々の行動に変革を迫っている。ロシアによるウクライナ侵攻が足元の原油や穀物などの価格高騰に拍車をかけ、先行きへの不安が景気回復の足かせにもなってきた。各業界は、どのような戦略を描き、飛躍への道を切り開こうとしているのか。「アップデート@新潟」のインタビュー編で、県内企業のトップらに展望を聞いた。

半導体支える高い技術

グローバルウェーハズ・ジャパン =聖籠町=

神足 勝昭社長 (58)



新型コロナウイルス禍 会社は世界3位のシェアをは、いやなく社会のデジ 持つ企業グループ。その日
タル化を促した。ITイン 本法人として神足勝昭社長
フラに不可欠なのが半導体 (58)は、独自の事業戦略を
だ。グローバルウェーハズ 描いている。
・ジャパン(GWJ、聖籠 ー半導体産業の現況をど
町)は、中核材料であるシ う見ていますか。
リコンウェハーを生産し、 「5G(第5世代移動通
国内外に出荷している。親 信システム)やAI(人工

こうたり・かつあき 東海大卒。1986年東芝
セラミックス入社。東芝グループからの独立や事業
譲渡などを経て設立されたグローバルウェーハズ・
ジャパンで執行役員、副社長を務め、2019年3
月から現職。神奈川県出身。

強み生かし世界戦略描く

知能)、IoT(モノのイ わが社が中でも得意にして ケットには浮き沈みがある
ンターネット)などがけん いるのは、精細な熟処理を ものだが、どの分野にも対
引役になって、多くの引き 施した「ユニールウェハー」 応でき、世界中に販売網が
合いがある。テレワーク向 だ。品質とコストのバランスに ため安定的な経営がで
けの機器や性能向上が進む スに優れており、メモリー きています」
自動車向けもあり、非常に (記憶装置)などに適して 「日本法人は技術力の面
活況を呈している。202 いる。(前身の)東芝セラ でグループをけん引してい
0年後半からフル稼働を続 ミックス時代からの技術も る。ユニールウェハーの拠
けているが、作りきれない あり、高い評価を得ている 点となっており、世界各地
状態だ。需要に応じるため、 ーグローバルウェーハズの 多くの企業が顧客だ」
生産性と歩留まりの向上に グループは世界シェアの約 ー半導体市場の見通し
努めている」 2割を持っています。 は。
ーGWJの技術的な強み 「計8カ国に工場があり、 「カーボンニュートラル
はどこにあるのでしょうか ささまざまな種類のシリコン やデジタルトランスフォー
ウエハーを展開している。 メーション(DX)の潮流 業間だけでなく、大学に
「ウエハーを正確に平た 半導体の中でも自動車向け もあり、デジタル化がど 入ってもらって技術研
んに加工できるのは当然。 やパソコン向けなど、マ ーまることはない。メタバ 究をする。その中で、新た
な製品を生み出してけれ

半導体は身近な家電製品から社会イ ンフラまであらゆる場面で使われ、産 業のコメ」とも呼ばれる。
1980年代まで日本製が世界をリ ードしていたが、価格競争や円高など により徐々に地位は低下。現在の世界 市場でのシェアは10%ほどにとどまっ ている。
新型コロナウイルスの拡大後は、テ レワークなどによるデジタル化の進展 もあり需給が急激に逼迫。日本経済の 基幹である自動車の生産が滞る事態も 発生した。
こうした状況から、国内の関連企業
「産業のコメ」需給逼迫
は半導体の各種素材の増産計画を進め る。政府も助成金制度による生産拠点 の誘致を打ち出した。半導体メーカ ー 世界大手の台湾積体電路製造(TSM C)の熊本県での工場新設に初適用さ れる見通しだ。
TSMCが同県進出のため設立した 子会社「JASM」の堀田祐一社長は19 日、21日に菊陽町で工場建設に着手す ると明らかにした。約1700人の雇 用を計画し、2024年12月の出荷開 始を目指す。工場建設の投資額は86億 円(約1兆1千億円)で、JASMには ソニーやデンソーも出資する。
(報道部・小林純)
＝随時掲載＝